

# 食の安全にどう向き合うか？

## 第3講

## ～くらしの中での工夫と実践～



原発事故は、放射性物質による「体内被曝(内部被曝)」という不安をもたらし、食の安全の面でも、新たなリスクを加えるという状況が続いています。

食品を通じて取り込んだ放射性物質や化学物質の健康への影響を最小限にするためには、解毒、排泄を促す食事の工夫が大切です。汚染の少ない食材の選び方や効果的な調理方法、望ましい食べ方の工夫などについて学びましょう。

**日時：2月13日(月) 10:00～12:30**

**会場：東京都生協連会館 3階**

**講師：** 家庭栄養研究会 副会長 月刊「食べもの通信」  
**蓮尾 隆子氏** 運営役員

NPO法人食品保健科学情報交流協議会 理事長  
**関澤 純氏**(コーディネーター)

### 「食」の現在(いま)を考える 連続講座

消費者ひとりひとりが「食」に関心を持ち、いろいろな情報を積極的に得て、それらの情報を適切に判断し選択できるようになることや、健康的でこころ豊かな食生活を実践する力を身につけることは大切と考え、「食」の現在(いま)を考える連続講座を開催します。

#### 講師プロフィール

雑誌、新聞の編集者から、子育てをキッカケに食と健康に関わる活動を始める、東都生協の設立に参加し、商品担当常務理事を歴任。家庭栄養研究会では創設(1970年)まもなくより月刊「食べもの通信」編集に携わる。1985年より現在まで運営役員。その他、現在全国消団連運営委員、コーデックス連絡協議会委員他複数の行政関連消費者委員就任中。

#### コーディネータープロフィール

国立医薬品食品研究所、徳島大学教授、内閣府食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会座長など歴任。最新著書『これ、食べたからだにいいの?』(コープ出版)

### 今後の講座の予定

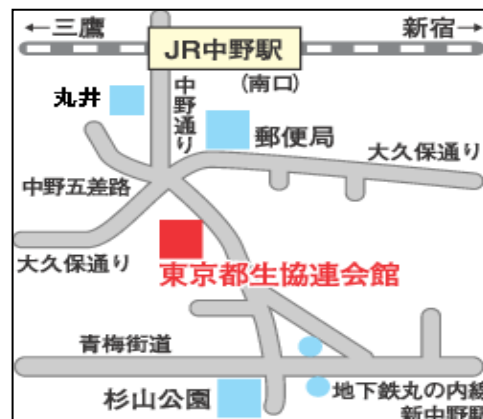
|     |  |
|-----|--|
| 第4講 | 2012年3月28日(水)<br>14:00～「クイズで学ぶ食の安全」(仮) |
|-----|--|

**申込締切：2月3日(金) 定員120名**

※参加・保育は定数を越えた場合お断りする場合があります。  
※問い合わせ：那須・川延

**保育あり**  
1歳以上

TEL 03-3383-7800 FAX 03-3383-7840



第3講 申込み 団体名：

| 参加者名 | 連絡先 | 保育 | 名前・年齢  |
|------|-----|----|--------|
|      |     |    | ・ 才 ヶ月 |
|      |     |    | ・ 才 ヶ月 |